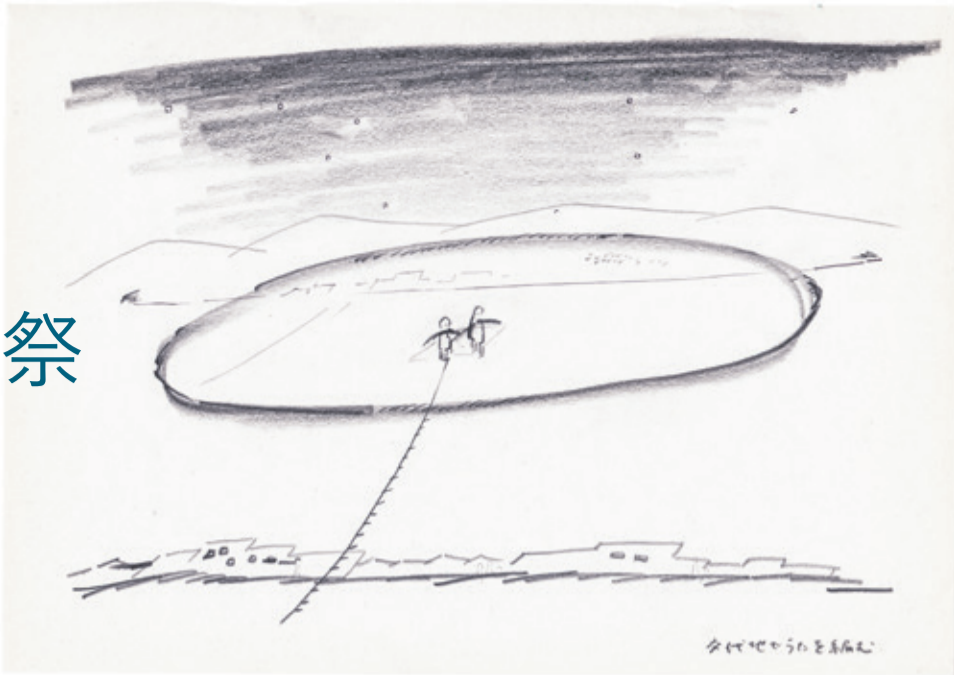


小森はるか+瀬尾夏美 ほぼ8年感謝祭

あわいの終わり、まちの始まり



ほぼ8年の間に
制作した作品群を一挙公開！
新作映像作品
『二重のまち/交代地のうたを編む(仮)』
の上映会をはじめ、
瀬尾夏美個展
「あわいゆくころ」「風景から歌」
も同時開催します！

主催 小森はるか+瀬尾夏美
助成 公益財団法人朝日新聞文化財団、
公益財団法人アイスタイル芸術スポーツ振興財団、
公益財団法人カメイ社会教育振興財団、
公益社団法人 企業メセナ協議会 GBFund

芸術文化による災害復興支援ファンド **GBFund** 企業メセナ協議会

2 瀬尾夏美個展 「あわいゆくころ」

2011年から現在まで、沿岸のまちで編まれた言葉や人びとの暮らし、仮設的な風景の変遷を綴りつづけてきた記録的なテキストによって、被災からあたらしいまちが出来るまでの“あわいの日々”を構成する展覧会。

2019年1月11日[金]–2月11日[月・祝]
開室時間 金土日の13:00–20:00
2月2日、3日のみ10:00より開室/2月11日は臨時開室

会場 東北リサーチとアートセンター[TRAC]
展示は入場無料。イベントは参加費あり

主催 小森はるか+瀬尾夏美、
公益財団法人仙台市民文化事業団、仙台市
2018年度仙台市文化プログラム「二重のまち/交代地のうたを編む」

関連企画 やわつちサロン
「アートによる“継承”を考える」

1月23日[水]19:00–21:00
ゲスト 水谷仁美(せんだいメディアテーク/
名古屋芸術大学 リベラルアーツ総合研究所 研究員)
サロンマスター 瀬尾夏美
参加費 500円 | 申込不要
会場 東北リサーチとアートセンター[TRAC]

主催 やわらかな土から art node



小森はるか+瀬尾夏美

映像作家の小森と画家で作家の瀬尾によるアートユニット。2011年3月、ともに東北沿岸にボランティアに行ったことをきっかけにして活動開始。2012年より3年間、岩手県陸前高田市に暮らしながら制作に取り組み。2015年、東北で活動する仲間とともに、記録を受け渡すための表現をつくる組織、一般社団法人NOOKを設立し、仙台に拠点を移す。風景と人びとのことばの記録を軸に制作・発表を続けながら、ワークショップや対話の場の企画と運営もを行っている。

問い合わせ先
小森はるか+瀬尾夏美
電話 022-724-7568(NOOK 小森)
メール komori.seo2018@gmail.com
ウェブ http://komori-seo.main.jp/
ほぼ8年感謝祭のウェブサイトはこちら→



個展「風景から歌」については
Gallery TURNAROUNDへ
電話 022-398-6413
メール info@turn-around.jp
ウェブ http://turn-around.jp/

東日本大震災からおよそ8年が経ち、ボランティアを契機にはじまった私たちの共同制作の日々も同じだけ時を重ねました。被災した沿岸各地ではそれぞれに“復興”が進み、あたらしいまちの形が見え始めた場所も少なくありません。

波に洗われ、壊れたものが積み上げられた風景から、まちの痕跡が草はらに覆われていく姿、嵩上げや防潮堤などの巨大な土木工事を経て、あたらしいまちの営みがはじまる。立ち止まる隙もないほど目まぐるしい日々のなかに確かにあった、一人ひとりの一途な歩み。私たちは陸前高田というまちで、その営みの片隅にいさせてもらいながら、その一部を作品として象ってきました。ふと振り返ると、あの頃まちの人びとが編み出していた言葉や感情、関係を繋いでいくためのさまざまな技術は、この度の被災にかかわらず、これからの生きていく誰でもに必要なものだとも思えます。

いよいよあたらしいまちでの暮らしが始まろうとしているいま、あらためて、私たちがつくってきた作品の数々を並べ直して、“あわいの日々”をまなごすための場をひらきます。

小森はるか+瀬尾夏美

3 瀬尾夏美個展 「風景から歌」

沿岸のまちで聞いた言葉や、そこで営まれる暮らしのあり様から編んだ三つの物語『二重のまち』『飛来の眼には』『みぎわの箱庭』を、絵画、ドローイング、テキストで構成する展覧会。

2019年1月29日[火]–2月10日[日]
開廊時間 11:00–19:30 | 日曜は17:00まで
休廊日 月曜日

会場 Gallery TURNAROUND
展示は入場無料。イベントは参加費あり

主催 小森はるか+瀬尾夏美、Gallery TURNAROUND、
公益財団法人仙台市民文化事業団、仙台市
2018年度仙台市文化プログラム「二重のまち/交代地のうたを編む」

会期中イベント
オープニングトーク

1月29日[火]
18:30– オープニングパーティ
19:00– トークイベント

登壇者 清水建人(せんだいメディアテーク学芸員)、
関本欣哉(Gallery TURNAROUND代表)、
瀬尾夏美
参加費 500円
定員 25名 | 予約優先
申込先 info@turn-around.jp

主催 小森はるか+瀬尾夏美、Gallery TURNAROUND

4 関連企画

瀬尾夏美 著
『あわいゆくころ 陸前高田、震災後を生きる』
出版記念トークイベント

出版記念として、企画チームの三人で
本書が出来るまでの背景や製作に関する
エピソードについてあれこれお話しします。

2月9日[土] 19:00–21:00

会場 book cafe 火星の庭 仙台市青葉区本町1-14-30

登壇者 瀬尾夏美、
櫻井拓(編集者)、小池俊起(デザイナー)
参加費 1,000円(ワンドリンク、会場限定のおまけ付き)
定員 30名 | 予約優先
申込み awaiyukukoro@gmail.com

共催 book cafe 火星の庭、あわいゆくころ企画室



出版物情報
瀬尾夏美 著
『あわいゆくころ 陸前高田、震災後を生きる』

出版：晶文社 | 価格：2,000円(税別) | 2月1日発売

震災後、陸前高田で作品をつくってきた著者が、被災からあたらしいまちの始まりまでの約7年間を“あわいの日々”と捉えて、当時生まれた感情や思想、風景、出会った言葉などを拾い直しながら編んだ著者初の単著。これまでに自身がツイッター上に綴ってきた言葉と、それらを2018年のいま再び読み返し、歩き直しながら書いたエッセイ、そしてこの出来事を「遠い未来に誰かが語る」、その時間を想像しながら描いた絵物語で構成される。

アクセス・地図

東北リサーチとアートセンター[TRAC]

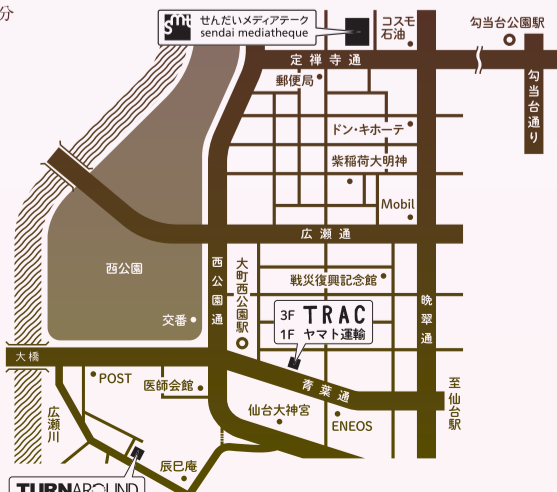
仙台市青葉区大町2-3-22第五菊水ビル3階
● 地下鉄東西線「大町西公園駅」東1出口より徒歩1分

Gallery TURNAROUND

仙台市青葉区大手町6-22久光ビル1階
● 地下鉄東西線「大町西公園駅」より徒歩5分

せんだいメディアテーク

仙台市青葉区春日町2-1
● 地下鉄南北線「勾当台公園駅」
公園2出口より徒歩6分
● 地下鉄東西線「大町西公園駅」より徒歩13分
● 仙台市営バス 仙台駅前-60番のりば
(仙台TRビル前、地下鉄仙台駅「中央2」出口前)から
「定禅寺通市役所前経由交通局大学病院」行き
(系統番号が「またはXで始まるバス」で約10分、
メディアテーク前下車。)



このチラシはリサイクルできます。